

佑啓

社会福祉法人 佑啓会 ふる里学舎
〒290-02 市原市 富田 1110-1
番 0436 第 3 原 7611
行 業 省 里 金 英 利
編 集 者 三 股

Kさんの選

三股 金利

最近のことです。住所不定のKさんがやって来ました。以前、県内のある施設を飛び出し、農家や飯場で仕事をしながら、関東近県を放浪していたようです。その後、都内の救護施設に入所するも不自由だったのでしょいか？ 昔いたところのある千葉にふりて来てたという感じでした。

あちこちでお巡りさんのお世話になったこともあるようです。手配師にいいように扱われながら、「ビールも飲ませてもらった。煙草も。御飯も。」と言いつつながら正月を前に「施設で世話になることいいかい？」と問いつけるワーカーさんに返事をし、書類にサインをしました。

社会の中で、自由と辛酸を味わうために再び施設を選択したのである。また年齢も若く、比較的能力の高い人に対し保護者の方は「社会参加なんてできませんよ」と言われます。作業、あるいは生活全般を見てそろそろ社会への道程を、その段階で説明すると必ず「そのような答えが返ってくるのです。」「せっかく入れた施設から出されてしまう。」「親」も後「施設が本人にとっても家族に」とも一瞥せざるには、「このようないい加減が勿論あるでしょう。しかし、周りの都合で社会生活の機会を逃すことになるのではないしょうか。ある時期必要な援助を受けながら施設では味わうことの出来ない経験をする。いろいろなことがあつて人生だと思えます。ふと対比してしましました。

社会の中で奔放に生きたKさんと、ともすれば施設しか知らない人達。社会参加に対する考え方も変わってきた。本来の自立ができてなくても何を援助すれば地域で生活できるか、そのためには何が必要かが問われます。そして地域で生活するための援助システムが整

備されつつあります。福祉サービスの一つである施設の機能を充実させることも大切ですが、障害を持つ方のまわりには私達の考え方を改める必要があるのではないのでしょうか。

「福祉サービス」を必要とする人が心身ともに健康に育成され、又は社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるとともに、その環境、年齢、及び心身の状況に応じ、地域において必要なサービスを総合的に提供されるように援助する。」「改正された社会福祉事業法の理念です。この一節は、ノーマライゼーションの具現化を目指すものとして、旧法の趣旨よりも具体的です。

一時、施設では重度化・加齢化多様化が声高に叫ばれましたが、問題解決の糸口が見つからないまま、地域福祉の台頭に取って代わられました。障害の重い人に対するケアと地域生活への模索。今後の課題ですが、忘れてならないのは、その環境、年齢及び心身の状況に応じたサービスを提供すること。この社会福祉事業法の基本理念なのではないでしょうか。五十一歳のKさんに出会って、

ふる里学舎 指導係長
ふる里学舎 家族会
明修会にも参加して



水島 武

一時保護でお世話になっていました「よっちゃん」の父親です。施設での生活では比較的良好な家庭生活では何かにつけ、手のかかる子という様には「きり」と自分を演じ分ける我が子との毎日に心身ともにくたがえがてしまったお母さん。そんなお母さんに少しでもリハビリして貰うつもりでお世話になりました。

お通いした受け入れの方々の優しい眼差しや言葉づかいに私達夫婦は「感じのよいところ良かった」と実感したのが第一印象です。今回、第一回目の研修会があるとのご案内を頂き早速参加致しました。



四月にふる里学舎がオープンしてから半年が経過した。十月、より生活能力訓練事業「ふれあいホーム」がスタートしました。これまで「ふれあいホーム」(一時保護)として数ヶ所の方々に活用されてきた施設ですが、この制度は在籍している方々以上の知的障害の方、おおよそ保護者の方々に一時的に施設を利用していた方々、養育生活、生活訓練、作業訓練、余暇活動等を目的に施設にいたる方々という在宅支援事業のひびきです。

ふる里学舎の「ふれあいホーム」の特色は、利用可能な様々なニーズに応えられること。Aコース(二泊三日)・Bコース(三泊四日)と実加期間幅を持たせていること、それに伴って生活・作業・余暇の何箇所かを設け、かつ、これを選択していただくという点にあります。また、保護者の方々の事前の打ち合わせを念頭に置くことにより、予定されているプログラムがしっかりと、できるだけ利用者の方々のニーズに応えるべく柔軟に対応していただけるよう心がけています。このようにして施設での生活を準備に役立て

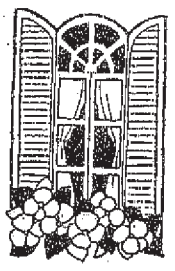
ふれあいホームを開始して

(生活能力訓練事業)

指導員 松橋 達也

ていただいた後、施設の方々とともに、今後の生活および進路を考えたうえでの参画に役立てただけだと感じておられます。この中で、「ふれあいホーム」という名称の持つ響きはいいがどうだろうか。「ふれあい」という言葉はなんとなく「めぐり」をイメージさせませんか。この言葉と対し、この制度が、人と人とのふれあいを基本とした「めぐり」のある、あたたかい交流の場」となるよう職員一同心がけ、努力していく所存であります。

とはいっても、なにぶん四月に開始してからまだ日が浅く、なにもかも駆け出しの施設です。ので、至らぬ点は数多くあるかと思えます。しかし、まずは「出会い、ふれあい」ことから始めてみませんか。多くの方々の参加を心待ちにしております。と同時に、意見・指摘等ございましたらお気軽にお問い合わせください。今後の「ふれあいホーム」を温かく見守っていただければ幸いです。



ありがとうございました

去る11月21日(日) 市原市福祉祭りが実施され、家族会によるパザーを市市民会館にて行われ、家族・関係業者・職員等関係氏から多くの提供を受け、売上も13万円になりました。当日のボランティアを始め、ご協力いただきました皆様にお礼とご報告を申し上げます。

ふる里学舎 家族会
事務局 三股 金利

